

# 八峰みんなの食育フェアを開催しました

いただきます！白神の自然がつくる産物を～世代を越えて育む食文化～



大潟村(有)せりた代表取締役



写真①

10月29日、ファガスにおいて「いただきます！白神の自然がつくる産物を～世代を越えて育む食文化～」をスローガンに八峰みんなの食育フェアが開催されました。同フェアは、昨年度策定した食育推進計画「八峰みんなの食育プラン」を記念し、そのプランをPRするために開催されたもので、町民230人が参加しました。

はじめに主催者を代表して加藤町長が「人間生活の中で衣・食・住という言葉があります。今日のこのフェアでは皆さんに、食に対する関心を高めていただき、生活習慣の中で健康を維持する食事というのはどうあればよいのか考えていただきました。」と挨拶。

その後、「食へのあふれる思い」大潟村入植二世として」と題し



写真②

て、八峰町出身で大潟村の「有限会社せりた」の代表取締役、芹田省一さんによる基調講演(写真上)が行われました。食や農業に対する熱い思いを講演され、最後に「学生の頃、農業は百姓、百姓は百の知識が必要で百の職業を生むすべての産業の基礎、『いしずえ』だ、と習った。今の歳になって、いろいろなものを見てきて実感している。」と語ってくれました。

講演の後には、町内における食育の取り組み事例が発表されました。八峰町学校給食共同調理場の主任学校栄養士、畠山絹子さんからは、地場産物を生かした学校給食が紹介(写真①)されたほか、食育推進計画策定委員長の松岡清也さんと同策定委員の日沼未央さんからは、JA女性部峰浜支部グラマンマシス



写真④



写真③

ターズや山菜とり名人の三浦徳雄さん、八森漁協女性部ひより会、玄辰但馬丸船長山本太志さんの取り組み事例が紹介(写真②)されました。

また、峰神太鼓による太鼓演奏(写真③)が行われたほか、屋外では産直おらほの館とブリコ、地元の魚屋さんによる新鮮な野菜や鮮魚などの青空販売(写真④)も行われました。



10月27日  
ファガスに

## 『日沼頼夫文庫』がオープンしました

この度、文化勲章受章者で秋田県及び八峰町名誉町民の日沼頼夫博士から寄贈された蔵書約2000冊の分類別整理が完了し、読書週間がはじまる10月27日、「日沼頼夫文庫」がオープンしました。

昨年の11月3日に町内の小中学生を対象に行われた講演会では、「本を読む」と題し、自身の幼少期からの読書体験を踏まえて、児童・生徒たちに読書の大切さをご講演くださった日沼博士。これまで自身が読んできた本を、地域の方々にぜひ読んでほしいと自らが選書して寄贈してくれました。

この日は、ファガス1階の図書室隣に設けられた「日沼頼夫文庫」前でオープンセレモニーが行われ、加藤町長が「日沼先生のような偉大な方がわが町から出たことに非常に誇りを感じています。未来を担う子供たちが、先生の生き方に興味を持ち、先生に継ぐ立派な方々に育つてくれることを期待します。町民の皆さんからも先生のこれまでの足跡を振り返りながらこの本を読んでもらいたい。」と挨拶。

続いて、日沼博士のご親戚を代表して日沼富也さんが「このように立派な『日沼頼夫文庫』を作ってくれたことに感謝申し上げます。この文庫をひとりでも多くの方に利用していただいで、第2・第3の日沼頼夫氏のような人が現れることを心からお待ちしております。」と話してくれました。



### 日沼 頼夫 博士

大正14年1月19日八峰町(旧八森町)茂浦生まれ。医学者。  
成人T細胞白血病の成因ウイルスを発見。京都大学・熊本大学・東北大学名誉教授。秋田県名誉県民。八峰町名誉町民。

### 日沼 頼夫 文庫

- 場 所：ファガス1階
- 利用時間：8時半～21時
- 年末年始は休館いたします(12月29日～1月3日)

「日沼頼夫文庫」には、小説・歴史・社会・医療など幅広い分野の書籍がそろっています。

町民の皆さん、ぜひ「日沼頼夫文庫」を利用しましょう。皆さんのお越しをお待ちしております。